

共感性

共感性尺度の目的

共感性の測定

- 他人の感情に共感できる程度を測定
- 心をつなぐためには感情の交流が必要
- 他人の感情に共感する能力が重要

感情型と理性型の区別

- 心が直接つながる感情型
- 理性的思考が優先し、心がつながりにくい理性型

共感性の高低による特徴

高い共感性の特徴

- 他人の感情を直接実感し、心が一つにつながる
- 誰とでもすぐに親しくなれる特性
- 自己の感情が受け入れられる喜びを感じる

中程度の共感性の特徴

- 理性的思考と感情的反応のバランスがとれる
- 自己の気持ちに近い感情は受け入れやすい

低い共感性の特徴

- 他人の感情を受け入れることが極めて困難
- 理性的思考が支配的で感情の交流が理解できない
- 自己の経験に基づく推測のみで他人を理解しようとする

共感性の特徴

感情型

- 他人の感情が直接心に入ってくる現象
- 喜びや悲しみが自分の心に染み込む体験
- 一時的な感情の共有であり、支配されるわけではない

理性型

- 同意できない感情に対しては心が閉じられる傾向
- 理性的思考が強くなると、感情より理性が優先される

理解的共感（理性型）の概念

経験に基づく共感

- 他人の感情を自分の経験に照らし合わせて理解
- 直接的な感情の共有ではなく、類似経験からの推測
- 同世代や類似の境遇の人々との共感がしやすい

理解的共感の限界

- 自己世界の経験に左右される特性
- 経験のない感情や状況に対しては共感が困難
- 世代間や文化間の大きな違いがある場合に特に顕著